

令和7年度 林業普及週間現地情報

森林管理課

第65回林業研究グループ九州地区交換研修大会について

8月28日（木）

令和7年8月28日、第65回林業研究グループ九州地区交換研修大会が宮崎県において開催され、沖縄県の林研グループ代表とし「宮古木工芸」与儀昌樹氏が発表を行った。その発表指導を宮古地区の林業普及指導員が行ったので、次のとおり報告する。

同大会は、九州各県の林業研究グループ（※1）が、日ごろの活動で得た林業経営や林業技術に関する意見等を交換することで交流を深め、今後の円滑なグループ活動の推進及び地域林業の振興に寄与することを目的に、年に1回開催されている。大会は発表内容が審査され、最も優秀であった発表者は、全国大会へ出場となる。

与儀氏からは島産材（宮古島で採れた木材）を活用したテーブルや三線の製作、木育活動と通して、次世代への島産材の活用、その技術の継承について発表がなされた。林業普及指導員はこれらの発表にむけた、原稿やプレゼンテーション資料の作成指導等をおこなった。審査員からは、今後、島産材をどのように展開していくのかの質問などが挙がり、島産材を活用した三線の販促活動を通じた海外展開を見据えた回答があり、講評において地域資源の伝承、その活動継続の期待が寄せられた。

九州8県から各地域個性豊かな発表があり、特に宮崎県代表の西米良村林業研究グループにおいては、担い手創出のための各階層（保育園生、小学生、中学生）への森林環境教育の取組や農林連携による労働力確保の取組、年20回程度の活発な活動実績が評価され、最優秀賞となった。

令和8年度は沖縄県で大会が開催される。同大会は、例年来賓等を含めて約200名程度の参加があるなど盛大に開催され、林業研究グループが主催する大会であるものの、大会準備や当日の運営など林業普及指導員も大きく関わることとなる。林業普及指導員として引き続き、管内林業研究グループの活動を支援しつつ、次年度の沖縄県開催に向け関係機関と協力して取り組んでいきたい。

※1:林業研究グループとは、林業経営の改善及び林業技術の向上を主たる目的として、意欲的で地域のリーダー的な林業経営者などを中心に組織され、林業経営にかかる学習・研究活動、共同事業などを行うグループ



(報告者：宮古農林水産振興センター 山城、玉城)